

Overview

少子高齢化に伴う労働人口の減少が進む中、海洋産業分野においても人手不足への対応が課題となっている。一方、近年では安価な水中ドローンの普及により、港湾工事や点検、環境調査等において、省人化や作業者の安全確保を目的としたロボットやIoT等の導入が盛んに進められている。本講演会では、学術や産業の立場から国内外および県内の海洋産業を概観するとともに、システムデザインに基づく海洋ビジネス創出のあり方や産学官連携によるロボティクスの活用事例を紹介し、県内企業の新規参入や新産業創出、産業連携を促進する機会とする。

Program

- | | | |
|-------------|-------------|--|
| 13:00 | 開場 | |
| 13:30-13:50 | 開会挨拶 | 長崎県工業技術センター 所長 野中 一洋 |
| 13:50-14:40 | 講演 | 海洋ロボティクス産業をシステムデザインする！
国立研究開発法人 海洋研究開発機構 吉田 弘 氏

新しい海洋産業はなぜ興らないのだろうか？視座を社会に置いたシステムデザインにより、新ビジネスの阻害要因と海洋ロボットビジネス創出のキモを語る。 |
| 14:50-15:30 | | 長崎県における海洋産業の現状とこれから
NPO 法人 長崎海洋産業クラスター形成推進協議会 松浦 正己 氏

長崎県における洋上風力産業を中心とする海洋産業の現状と動向を概観し、関連する人材教育及び地元企業の事業取組みを紹介する。 |
| 15:40-16:20 | | ロボティクスの社会実装へ向けた産学官連携の取り組み
国立大学法人 長崎大学 教授 山本 郁夫

山本研究室での産学官連携事例を紹介し、ロボティクスの社会実装へ向けた、これからの産学官連携のあり方を提言する。 |
| 16:20-16:40 | | 長崎県工業技術センターの取り組み
長崎県工業技術センター 児玉 勝敏

工業技術センターでの水域ロボティクスに関する研究開発や技術支援の事例、これからの取り組みなどを紹介する。 |
| 16:40-16:50 | 閉会挨拶 | 国立大学法人 長崎大学 教授 山本 郁夫 |

Access



■ JR長崎駅から公共交通機関でお越しの方

- 路面電車の場合
1番・3番系統「赤迫」行きに乗車、
「長崎大学」下車、徒歩すぐ
- 長崎バスの場合
「上床」「溝川」行きなどの1番系統に乗車、
「長崎大学前」下車、徒歩すぐ

■ お車でお越しの方

300円の入構料金が必要となります。正門より入構し、守衛室にて手続きを行ってください。

その他、詳細な交通アクセスや
キャンパスマップは[こちら](#)から
(長崎大学公式ホームページへジャンプします)

